

海洋オリエンテーリング体験

鹿町海洋OL大会

2002年8月5日 清水 潔 (横浜OLC)

雪原を駆けるスキー-Q、自転車を使うマウンテンバイク-Q、そして野山を駆けるフット-Q。オリエンテーリングは色々なフィールドで行われている。

そして地球上で最も広大なフィールド「海」。海洋国家・日本にこそ相応しい競技はコレなのかもしれない。

九州じゃ、ちょっとメジャー？

シーカヤックを使うオリエンテーリング、今年で9回目でした。

場所は、長崎県の鹿町町（町がふたつあるのは間違いじゃないですよ）、博多から高速バスで佐世保まで2時間、そこから西肥（サイヒ）バスで1時間20分。人口5,800人で漁業関係が30%という町で、リアス式海岸で島がたくさんある北九十九島があります。町では、アコヤ貝や河豚の養殖をしていて、それぞれの有名な産地に出荷されているそうです。

最初にシーカヤックについて一言。これはカヌーの1種であるカヤックの海用のもので、小型で艇の上面は閉じられていて、棒の両側にブレードがついたパドル（櫂）で、前向きに進むものです。エスキモーが狩猟用に使っていたものが元になっています。カヌーには他にカナディアンといふ艇の上面が開いていて、棒の片側だけにブレードがついたパドルで進むものがあります。



海上にあるスタート地点

大会はAクラス(8マイル)、Bクラス(5マイル)、Cクラス(5マイルペア)、Dクラス(1.5マイル)の5種目でした。Dクラスのみがレンタルカヌーで、他は持ち込みになっていました。

全体で83名、70艇の参加で、他に地元小中学生によるリレー（オリエンテーリングではありません）があり、これが140名の参加でした。

わたしはDクラスに参加しました。フットOの大会で見た事のあるオリエンティアが3人いました。

土曜日には初心者向けの講習会、開会式、参加者交流会がありました。

講習会には10名くらいの参加で、全くの初心者でも心配なく参加できます。川用のカヤックをやった事があるので、直進するのが大変だと思っていましたが、シーカヤックは直進性が高く、この心配はありませんでした。開会式は、講習会も行なわれた施設で開かれ、町長さんも含めて床にあぐらをかいての気楽なものでした。交流会は、長串山という所で開かれ、有料でしたが飲み放題、食い放題で、主催者、参加者入り混じって交流でした。途中、海に沈む夕陽も眺められ、とても美しい景色でした。

参加している人に聞いてみると、九州ではなかなかカヤックが盛んなようで、この大会もカヤック関係では良く知られているようでした。また、カヤックでは、オリエンテーリングという名前を使わなくても、ポイント毎に次のポイントまでの地図をわたされるというような競技も行なわれているという事でした。大きいカヤックの大会では600艇一斉スタートというようなものもあるとの事です。なんだか、パドルでのパドルが大変そうです。



色とりどりのシーカヤック。出艇を待っています。

海上に浮かぶコントロール

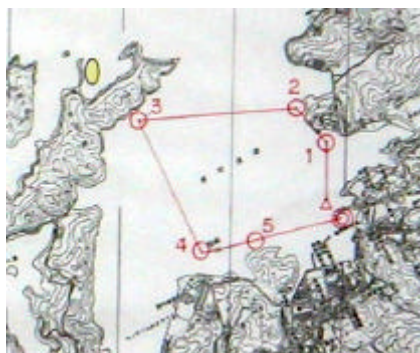
さて、大会当日(8月4日)です。会場に行くと、カヌーを屋根に載せた車が続々と到着します。9時がトップスタートで一度に5艇が同時スタートです。コントロールはタイヤのチューブを浮きにして、その上に木製のパンチ台を置き、アンカーで海に固定してあります。フラッグはプラスチックの板で作られ大きさも普通のサイズだったようです。



設置前のフラッグたち

パンチは全く普通のものでした。また、地図は乗る前に渡されます。

地図はプラスチックに封入されコンパスをテープで貼り付けられていました。これを艇の上に貼っているゴムバンドにはさんで固定します。また、コントロールカードも同様にプラスチックに封入されたものが紐とともに渡されます。これは首に掛けました。



最も初心者向けのDコース
湾内だけのコース設定です。

さて、地図を見て港の中と照合してみると、どう見てもあるはずのところにコントロールがないのがわかります。けれどコントロールが穴や植生に隠れているわけではなく、あまり競技性には影響ありませんでした。また、地図上には一応ポイントOの形式でスタートの三角からゴールの二重丸まで丸をつないでいるのですが、カードに押された記号があていれば、どう回ってもOKというおあらかじめおらかされた。そうは言ってもルートの線に従って進むのが一番速い

ようにはなっているの、スタートすると1番に向かう人と、ラスポに向かう人と二手に分かれていました。



イベント前の安全祈願。
日本的でいいですね。
フット大会でもやってみようかな。

いよいよ自分の番、10時20分が近づきました。港の岸壁に特設された乗り場でカヤックに搭乗です。ここで大失敗をしてしまいました。カヤックには、舵があり、これをペダルでコントロールするのですが、この調整を忘れてしまったのです。スタートしたのは良かったのですが、舵が少し曲がっているようで真直ぐに進みません。一生懸命パドルで方向を調整しながら進みました。一番コントロール到着。艇が走り過ぎそうになるのを、パンチを持って艇を引き戻してパンチ。結構紐は強いもので、アンカーと結んであるロープはもっとしっかりしているので、これをつかんで艇を止めてはパンチの繰り返しです。スキーOと同じで、最初とはにかく道具を使う腕が勝負です。Dクラスではコントロールは5個あり、すべて港の中にあつた。すぐに曲りそうになるカヤックを操ってなんとか32分16秒でゴールしました。29人参加のうち10位。1位は28分05秒、狙えばなんとかかなりそうです。

ちなみに、Aクラスのトップは1時間32分07秒なので6分/km位になります。なかなか速く、これは簡単にはできそうにありません。カーボンファイバーの艇が軽く速いそうなので、たぶんそんな艇を使っているのでしょう。

中にはまだ曹げない子供を真ん中に載せた3人乗りの艇や、浮き袋をつけた犬と一緒にの人など、皆思い思いに楽しんでいました。

海上綱引きやお楽しみ抽選会なども行なわれ楽しい1日でした。また参加してみたい大会です。全くの初心者でも前日の講習会で参加できますので、参加してみてもいいでしょう。

大会主催者のURLは以下のとおりです。
<http://www.try-net.or.jp/~public/shikamachi/orient.html>

勢子辻で

100コントロールに挑戦!

静岡県では、毎年夏合宿で好評のうちにご利用いただいてきました、サマーチャレンジを冬にも開催することになりました。

WCで世界のトップ選手を楽しませた勢子辻の桐エリアに100コントロールを設置し、北欧気分のオリエンテーリングを心行くまで楽しんでいただくという趣向です。

下の図を見ていただければ分かるように、コントロールはいれたところに置いてあります。一部を選んで普通のオリエンテーリングを楽しむもよし、全部つなげて、1000本ノックならぬ100レグOLでオリエンテーリング技術を徹底的に磨くもよし。使い方はあなた次第。

また一部には羽鳥エミット商会協賛によるエミットのユニットも設置されています。トップ選手とラップタイムを比較するチャンスもあります。

お問い合わせ

静岡県OL協会(担当:村越真)

054-237-9637

メール: shin@orienteing.com

